

2020年12月9日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

勝田車両センター開業60周年記念！ 「車両のプロ」が企画したカレンダーを発売します！

JR東日本水戸支社は、車両メンテナンスを担う「勝田車両センター」社員が撮影した貴重な写真を基に、2021年4月に開業60周年を迎える勝田車両センターのオリジナルカレンダーを制作しました。お客さまが目にする機会が少ない車両センター内の風景を中心に、表紙を含めた13枚の厳選した写真で構成しています。

商品概要

【発 売 日】 2020年12月10日(木)

【商 品 名】 60th Anniversary 勝田車両センターオリジナルカレンダー
(使用写真13枚含む・A6サイズ卓上タイプ)

【販売箇所】 NewDays勝田、NewDaysミニ水戸1号、NewDaysミニ水戸7号
(販売店舗が変更になる事がありますのでご了承ください)
JRE MALL「TRAINIART」(トレニアート)

【価 格】 1,100円(税込)

※ JRE MALLで購入の場合は別途、送料がかかります。



【別紙】

表紙：「勝田車両センター唯一の『2021 番』先頭車」

1 月 「18 番線の車両移動機（アント）と E657 系」



特徴的なアーチ天井と車両を移動するアント、修繕中の E657 系を撮影した 1 枚。小柄な車体でも 5 両の車両を移動できる車両センターの働き者です。写真のアントは約 19 年間働き、先日引退を迎えました。

2 月 「出区前の車両たち」



懐かしいカラーリングに変更された E653 系と普通列車で活躍する E531 系・E501 系の並びを撮影しました。このように障害物がなくきれいに並ぶ光景は他では見られず、入出区の合間の貴重なタイミングで実現しました。

3 月 「点検中の E501 系」



青い帯の E531 系が幅広く活躍する中で、少数ながら通勤通学を支える緑の帯 E501 系の車両検査風景を撮影しました。こうした検査を行うことで安全な運行を陰ながら支えています。

4 月 「車庫内に並ぶ E531 系」



車両を検査するピット線に E531 系が並んでいるところを撮影しました。3 編成が並んでいますがそれぞれ前面上部の表示が違い、特に右の編成の試験表示は車両検査時にしか表示させない珍しい表示です。

5 月 「安全な走行を支える台車とモーター」



床下点検を行うピット線で点検中の E531 系を撮影。最高速度 130km/h で安全に列車を走らせるために日々の点検を行っています。車両の床下を見上げるのも車両センターならではの光景です。

6 月 「E657 系洗淨中！！」



特急列車での運用を終えて洗淨機で車体を洗淨する E657 系です。車両によって形が異なるためブラシを使い分け、きれいな車体を維持するために定期的に洗淨を行っています。

7 月「次の列車に備えて清掃・整備中」



洗浄線に留置されている E531 系を撮影しました。車両センターでは車両の検査以外に、車両内にあるトイレに使う水を給水し汚物を抜く業務も行います。こうした車両センターでの業務を知っていただきたく選びました。

8 月「鉄路を支えるお医者さん、E491 系」



車両センターで出発を待つ E491 系（East i-E）です。E491 系は JR 東日本管内を中心とする電化区間の地上設備の検測を行う車両で、撮影時はマヤ車（建築限界測定車）が組み込まれています。

9 月「朝一番の特急出発！」



夜明け前、朝一番の特急として出発する E657 系です。運転士、検査・修繕担当者、清掃担当者などが安全で快適な車両の提供を行い、今日も信号に従い時間通りに車両が出発していきます。

10 月「夕暮れの構内入換」



夕暮れの車両センターで出発を待つ E491 系と入換中の E657 系です。清掃や修繕計画をもとに作業する番線へと車両を移動します。日々計画を立てて入換を行う光景はまるでパズルのようです。

11 月「明日に備えて休む E657 系」



ピット線での整備を終え、骨を休める E657 系。写真は E657 系の中でも 2019 年に造られた車両たちとなります。車両が新造された後は、各種試験を行い、必要な整備をしてから営業運転に入ることになります。

12 月「ピット線にたたずむ E531 系」



修繕作業を終えてピット線にたたずむ E531 系を撮影。次の運用に備えて小休止です。E531 系は広範囲で運用されており、明日になればお客さまを乗せて一都四県を駆け巡ります。